

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の古いお宝再発見事業
事業主体 (連絡先)	筑北村 筑北村教育委員会 生涯学習課
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	826,267 円 (うち支援金: 619,000 円)

事業内容

村の貴重な財産であり、国重要文化財である「懸け仏」は現在、東京国立博物館に寄託されており、形容を知る住民は少ない、そこで、懸け仏のレプリカを作成し地域の宝、文化財を永く地域の人に伝えていく。

また、公共施設等への写真パネルの掲示や生涯学習ボランティアによる資料館整備を行い、懸け仏を見る機会を増やすとともに、11月3日に昔チャレンジ教室を開催し懸け仏に焦点を当てた、講演会、体験教室を行い、文化財について広く知ってもらう事で地域の宝、文化財、郷土への愛着を持ってもらう。



※1 自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

11月の文化祭では、950人以上の方にレプリカの鑑賞をしてもらい、村に「懸け仏」という貴重な宝があることを周知できた。

また、国重要文化財「懸け仏」の復元品を村民がいつでも鑑賞できるようになり、村民の郷土の歴史への関心や愛着が高めるきっかけを作ることができた。

生涯学習支援ボランティアをはじめとする団体の地域の文化財資源を生かした活動につなげることができた。

【目標・ねらい】

- 文化財行政の推進
- 文化財支援ボランティアの育成
- 資料館の有効活用イベント
-

※2 自己評価 (事業効果) 【A】

今後の取り組み

- 懸け仏レプリカを学校授業でも活用してもらえよう働きかける。
- 生涯学習支援ボランティアによる、文化財の整理、展示の継続。
- 資料館イベントの開催
- 等、懸け仏を中心とした村内の文化財への関心を高めてもらう取り組みを継続するとともに、資料館の見学者数の増加を目指す。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある